

#8 一人の新しい人のために神の執事職を遂行する

(2019.10.ITERO) 2019/12/30-2020/1/5

Overview: 神のエコノミーは執事の奉仕によって執行されるので、執事職が神のエコノミーの遂行の律速段階になり、その必要性は切迫しています(I,II)。執事職が恵みの執事職であるとは、執事は恵みを人に供給する必要があることを示しています。恵みとは、神聖な三一が人の中へと伝達されて、享受となることであるので、執事は恵みを享受して、恵みで満たされ、恵みを他の人に分与します(III)。諸召会の責任者と奉仕者は諸召会を顧みる責任を担い、執事職をあずかるべきです(IV)。神のエコノミーと執事職のゴールは、宇宙的な一人の新しい人を実現のためであるので、忠信な執事たちは、新しい人の感覚をもって、異なる背景を持ったすべての人々にキリストを恵みとして分与して、彼らを一つの神の家族、一人の新しい人にします(V)。

I. 神は彼のエコノミーを完成するために、執事をもって奉仕させ、供給させ、管理させ、神のエコノミーを執行させなければなりません: **Iコリント4:1-2** このように、人は私たちを、キリストのしもべ、また神の奥義の執事と考えるべきです。ここで、さらに、執事たちに求められるのは、忠信であることが現れることです。

A. 「執事」のギリシャ語は、Iテモテ1:4とエペソ1:10の「エコノミー」と同じ語根からなっています:

Iテモテ1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミー[経綸]ではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。エペソ1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。1. それが意味するのは、「分与する執事」、すなわち「家庭の管理者、すなわち家の中にある供給をそのメンバーに分与する人」です。

2. 執事は分与する者であり、神聖な命の供給を神の子供たちに分与する者です:

a. 使徒は主によって任命されてそのような執事となりました。b. 分与する奉仕、執事職は、使徒の務めです。

B. 新約において啓示されている神のエコノミーには、おもに二つの奥義があります:

1. 第一の奥義は、コロサイ人への手紙の中で啓示されており、それは神の奥義としてのキリストです。

2. 第二の奥義は、エペソ人への手紙の中で啓示され説明されており、それはキリストの奥義としての召会です。

C. 分与する務めにおいて、最も重要なのは執事が忠信であることが現れることです。月

II. 神の新約エコノミーにおいて、神の執事職に対する切迫した必要があります:

A. 執事職は、神の神聖な案配であって、神の新約エコノミーを完成します。

B. 神のエコノミーは、神の執事職となって、すべての信者に与えられました:

1. エペソ第3章でパウロは、「オイコノミア(oikonomia)」というギリシャ語を用いて二つの事を指しています:

a. 神に関して、「オイコノミア」は、神のエコノミーを指しています。

b. 私たちに関して、「オイコノミア」は、執事職を指しています。

c. 神の執事職は神のエコノミーにしたがっています。神にとって、それはエコノミーの事柄であり、私たちにあってそれは執事職の事柄です。

2. 恵みの執事職は、キリストの豊富を私たちの存在の中

へと分与し、私たちを成長させ、召会とならせることです。

エペソ3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、

C. 全聖書の中心点は、神の心の願いであって、ご自身を人の中へと分与することです:

1. 神のエコノミーは、ご自身を人の中へと分与するのを遂行することです。

2. 神の永遠の定められた御旨を完成することができる一人の新しい人は、神の継続的な、永遠の分与を受けます:**エペソ2:15** 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり。

a. 安定した水の流れのように、神は少しずつご自身を、新しい人の各部分である人たちの中へと分与します。

b. 神の継続的で、安定した、永遠の分与は、私たちを構成し、組み合わせ、共に建造します。火

D. パウロの執事職は、神の言葉を完成して、キリストを彼のすべての豊富と共に諸召会の中へと分与することでした:**コロサイ1:25-27** 私は、神の執事職にしたがって、その奉仕者になりました。それは、あなたがたのために私に与えられたものであり、神の言を完成するためです。その奥義は、各時代にわたって、また各世代にわたって隠されてきましたが、今や神の聖徒たちに明らかに示されています。神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。

1. パウロは何世紀も前に用いられて、神聖な啓示を完成しましたが、今日、神聖な啓示は依然として実行上において完成される必要があります:

a. 神の敵であるサタンは、神の言葉の完成を破壊する機会を探し求めています。

b. 敵のこうかつさは、パウロを通して完成された言葉におおいをかけることです。

c. 神の言葉が完成されなければ、神の定められた御旨は成就されることができません。そしてキリストは彼の花嫁を得ることができず、彼の王国と共にやってくることもできません。

2. 今日私たちが供給しているものは、パウロに与えられた神聖な啓示の完成です。

3. 私たちは主の回復において、神の言葉を完成することのできる執事をさらに多く必要とします。水

III. 神の執事職は、恵みの執事職です: **エペソ3:2** あなたがたのために、私に与えられた神の恵みの執事職について、あなたがたは確かに聞いていることでしょう。

8-9 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり…(木曜)

A. 恵みの執事職は、恵みのエコノミーであって、神の新約エコノミーを遂行します。

B. 恵みとは、神ご自身がキリストの中でその霊として、私たちに与えられ、獲得され、享受されることです:

1. キリストの中で私たちに与えられた恵みは、世が始まる前に私たちに与えられたものです。

IIテモテ1:9 神は私たちを救い、聖なる召しをもって

召してくださいました。それは私たちのわざによるのではなく、彼ご自身の定められた御旨と恵みによります。キリスト・イエスの中で、もろもろの時代の前に私たちに与えられていたこの恵みは。

2. 初めにあった神は、時間の中で肉体と成り、恵みとして人が受け、所有し、享受するためであり、神を接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができるようにしました。

3. 私たちの主イエス・キリストの恵みは、三一の神(御子の中に具体化され、命を与える霊として実際化された)の満ちあふれる供給です。それを私たちは人の霊を活用することを通して享受することができます。

4. 恵みとは、神聖な三一が私たちの中へと伝達されて、私たちの享受となることであり、また三一の神が父、子、霊という三つの面で具体化されて現されることです。

a. 主の恵みとは、私たちの命としての主ご自身が私たちの享受となることです。神の愛とは、神ご自身であり、主の恵みの源です。その霊の交わりとは、その霊ご自身が、主の恵みと神の愛を伝達して、私たちにあずからせることです。Iコリント15:10 しかし、神の恵みによって、今の私があるのです。そして私に対する神の恵みは、無駄にはなりません。それどころか、私は彼らのだれよりも多く労苦してきました。しかし、それは私ではなく、私と共にある神の恵みです。

b. IIコリント13:14では、主の恵みが最初に述べられています。なぜなら、本書はキリストの恵みについての書であるからです。IIコリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

c. 聖霊はキリストの恵みと御父の愛との循環、伝達であって、私たちのクリスチャン生活と召会生活の供給です。

5. 驚くべき神聖な伝達が日ごとに起こるべきです。神は恵みの霊をあふれるばかりに供給しており、私たちは恵みの霊を絶えず受けて分与すべきです。

C. 神の恵みの福音とは、恵みの執事職であって、神を人々の中へと分与して、彼らの享受とならせることです。パウロは彼の務めにおいて、神の恵みの福音を厳かに証して、神を人々の中へと供給しました。

D. クリスチャン生活は、恵みの生活、恵みを経験することであり、私たちに恵みの執事職、すなわち恵みの分与を遂行させます。

E. キリストのからだの實行上の生活と建造は、神の恵みとしてのキリストを内側で享受することから出てきます。木金

IV. 諸召会の中で責任を担っている人たちは、神の執事職にあずかる必要があります:

A. 長老たちは率先して、キリストの豊富を他の人たちの中へと分与すべきです。

IIコリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

B. 主の回復の中で導き、諸召会を顧みる責任を担っている人たちはみな、自分たちがそのような神聖な執事職に分を持っていることを認識する必要があります。

V. パウロは神のエコノミーにおける忠信な執事であり、一人の新しい人の感覚を持っていたので、彼の心の中にあったのは、単に特定の地方召会や特定の聖徒だけではなく、宇宙的な一人の新しい人でした:

エペソ1:10 時代の満了時のエコノミーへ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中にかしらにつり上げようとしたのです。

A. 「私たちに一人の新しい人の感覚があるなら、私たちはもはや、自分の国の召会は他の国の召会と何の関係もないと考えるべきではありません。そうではなく、すべての召会が今日、一人の新しい人であることを、私たちは認識するでしょう。どうか私たちが主を見つめて、決して分派的になることはありませんように。私たちは、個人的に信者としても、あるいは団体的に地方召会としても、分派的になろうとしません。その反対に、私たちすべて、すべての召会のすべての聖徒は、一人の新しい人です」。

B. 「私たちはまた、今日、地上に別の人、すなわちすべての信者を含む新しい人がいることに歓喜すべきです。イエス・キリストの死と復活を通して生まれたこの新しい人は、今や地の至る所に広がり、成長しつつあります。主を賛美します。私たちはこの新しい人の一部分です！」。土

Crucial Point(1):忠信な執事となるために、安定した水流の中に留まり続ける(OL I, II)

OL1: 神は彼のエコノミーを完成するために、執事をもって奉仕させ、供給させ、管理させ、神のエコノミーを執行させなければなりません。OL2: 分与する務めにおいて、最も重要なのは執事が忠信であることが現れることです。

OL3: 安定した水の流れのように、神は少しずつご自身を、新しい人の各部分である人たちの中へと分与します。

OL4: 神の継続的で、安定した、永遠の分与は、私たちが構成し、組み合わせ、共に建造します。

御使いたちは罪人が救われるのを見る時はいつでも歌います。彼らが召会を見るなら、いつそう歌うことでしょう。そしてパウロは、キリストが死と復活の中で彼の神聖な要素を材料として用い、宇宙的な一人の新しい人を生み出されることを見せます。最後に、この傑作、神の永遠のエコノミーを完成することのできる新しい人は、一つの霊の中で神へともたらされ、いかなる隔ても全くなく神に近づき、ずっと神の臨在の中にとどまって神の絶え間ない、永遠の分与を受けます。安定した水の流れのように、神は少しずつご自身を、この新しい人の一部分である人たちの中へと分与します。彼らを共に組み合わせ、共に構成し、共に建造するのは、この継続的で、安定した、永遠の分与です。この建造された召会は、神が彼の行政を執行される彼の王国です。召会はまた彼の愛を分与する家庭でもあり、そのようなものとして、それは私たちの霊の中で彼の永遠の住まいとなります。

パウロは、自分は神の家族の執事であると言っています。神は極めて豊かです。神は彼の子供たちに分与する意図で、良いものの莫大な倉庫を持っておられます。しかしこの分与には執事が必要です。ですから、執事は分与する者であり、神聖な命の供給を神の子供たちに分与する者です。

神の心の願いは、ご自身を人の中へと分与することです。これが全聖書の中心点です。神のエコノミーは、ご自身を人の中へと分与するのを遂行することです。私たちは、私たちの執事職、すなわちキリストの豊富を分与する務めを通して、このエコノミーにあずかるのです。キリストの豊富が私たちの中へと分与された後、私たちは負担を取り上げて、それらを人の中へと分与する必要があります。神にとって、これらの豊富は彼のエコノミーです。私たちにあって、それらは執事職です。

適用: 青少年・大学生編

青少年の皆さんは、主の臨在とその霊の安定した流れに留まるため、(1)霊的パートナーと共に召会生活に留まり、(2)福音と牧養のために祈り、福音と牧養を毎週実行してください。

1主の臨在とその霊の安定した流れは、霊的パートナーと導く兄弟姉妹を伴う召会生活の中にあります。あなたは召会生活の中で自分の天然の個性と合う人を探してはいけません。そうではなく、あなたを導き指導し、供給し成就することのできる、前進し霊の中で燃えている兄弟姉妹と結合してください。彼らに開き、彼らの導きを尊重し、従ってください。あなたの観念や価値観と、神の観念や価値観は異なっているので、あなたに仕えている兄弟姉妹もあなたの観念や価値観にしたがって奉仕するものではありません。あなたは心を開き、彼らの指導について祈ってください。例えば聖書を読んだり集会したりするより友達と一緒に買い物に出かけたり、家でネットゲームなどをしたりする方が楽しいと考える時、奉仕者の兄弟姉妹はあなたを励まし、時間を贖って聖書を読むことなどを勧めます。彼らはあなたの益を考慮してこのように交わっています。**エペソ 5:16 今の日々は邪悪ですから、時を贖い取りなさい。**若い時から時を贖い、主を愛し、主を享受し、人にキリストを供給することを学んでください。

同時にあなたは召会生活の中で前進するために、同世代のパートナーを持ってください。炭は単独でいると燃えることが困難ですが、共に連なっていると燃え続けることができます。

II テモテ 2:21 ですから、だれでも自分自身をこれらのものから清めるなら、その人は尊いことに用いられる器となり、聖別され、主人に役立つ、あらゆる良いわざに間に合う者となるのです。**22** ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい。そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。

2福音と牧養のために祈り、福音と牧養を実行してください。あなたは弱いかもしれませんが、福音友人や救われたばかりの新人、集会に来なくなった兄弟姉妹は、あなたより弱いのです。彼らのために祈り、パートナーと一緒に福音と牧養を毎週実行してください。

祈り:「おお主イエスよ、私は神の執事職が与えられています。主を賛美します。この執事職を実行し、キリストの豊富を人に分与するために、私は私を導く兄弟姉妹に結合し、同世代のパートナーと共に召会生活を送ります。そうすれば私は主の親密な臨在と安定したその霊の水流の中に留まることができるからです。神聖な分与の下で享受し、他の人に流し出すことができますように。」

Crucial Point(2):聖書を読む時、心を主に向け、霊を活用して、Bird's Eyes View と Crucial Points を持って読むことを訓練する(OL II -D, III)

OL1:敵のこうかつさは、パウロを通して完成された言葉におおいをかけることです。

OL2:神の言葉が完成されなければ、神の定められた御旨は成就されることができません。そしてキリストは彼の花嫁を得ることができず、彼の王国と共にやって来ることができません。

OL3:私たちの主イエス・キリストの恵みは、三一の神(御子の中に具体化され、命を与える霊として実際化された)の満ちあふれる供給です。それを私たちは人の霊を活用することを通して享受することができます。

新約の時に、使徒たち、特に使徒パウロは、神の奥義(キリスト)において、またキリストの奥義(召会)において、神の言葉を完成しました。こうして、神のエコノミーの完全な啓示を、私たちに与えました。コロサイ1:26によれば、神の言葉は、「奥義」です。この隠されていた奥義は、キリストと召会、かしらとからだに関するものです。使徒パウロ

を通して、この奥義が啓示され、神聖な啓示としての神の言葉の完成の主要な部分となりました。…キリストと召会に関する奥義は、永遠から、またもろもろの時から、新約の時代に至るまで隠されていました。この新約時代に、それは私たちすべてを含む聖徒たち、すなわちキリストにある信者たちに、明らかに示されました。

主の回復の中で、私たちは神の言葉を完成することができるさらに多くの執事たちを必要とします。私たちはみなこのために、負担を負わなければなりません。私たちは主の臨在の中でさらに多くの時間を費やす必要があります。それは、主が私たちの享受のために私たちの分け前となられ、私たちがキリストの豊富を持って人に供給するためです。

すべての肢体がキリストの豊富を供給する執事職を遂行する時、からだは建造されます。私たちの間にそのような相互の執事職がありますように。あなたはキリストの豊富を人に供給し、また彼らはキリストをあなたに供給します。

神の敵サタンはこうかつに、神の言葉の完成を破壊する機会を探し求めています。敵はクリスチャンが旧約聖書、福音書、使徒行伝に啓示されたことを宣べ伝えるのを容認するでしょう。しかし、すべてを含む命を与える霊としてのキリストに関する教え、あるいはキリストの奥義としての召会に関する教えを容認することはできないのです。この路線に沿って務めをする者はだれでも、敵に攻撃されるでしょう。

この恵みの執事職は神の分与のためです。すでに見てきたように、神の心の願いは彼の豊富、すなわち実は彼ご自身を、彼の選ばれた人たちの中へと分与することです。

適用:青年在職者・大学院生編

パウロの務めは神の言葉を完成させるものでしたが、今日サタンの策略により、パウロの完成する務めは覆われています。あなたは聖書を読む時、自分の宗教観念や価値観に従って読んではいけません。聖書を読む時はいつも、心を主に向け、霊を活用して祈りの雰囲気の中で読むべきです。**II コリント 3:15** まことに、今日に至るまで、モーセの書が読まれるたびに、おおいが彼らの心にかかっているのです。**16** しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいは取り除かれます。**17** そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。

聖書は神のエコノミーを啓示しており、それはキリストとキリストの分与の結果生み出される召会、キリストのからだについての書です。聖書には多くの事柄が書かれていますが、その中心点はキリストとキリストのからだである召会です。あなたがこの中心点を捕えて聖書を読めば、全聖書があなたに開かれるでしょう。

聖書を読む時の重要な点は、**1**鳥瞰的な見方を持つことと、**2**Crucial Points を見出すことです。この事は、大学院の研究やビジネスにおいても同じことが言えます。ですから、あなたが自分の観念のおおいを取って神のエコノミーの路線に従って聖書の真理を追求することは、ビジネス・ライフにおける業務においても、光と知恵を与え、あなたを卓越したビジネス・パーソンにすることが出来ます。

グローバルなビジネスの世界では、欧米の会社の経営者は、「日本人の経営者の経営判断が遅すぎる、あるいは決定しないことが、彼らのビジネス上の大きな損失である」ことを指摘しています。これは日本人の文化的な気質の中の、「細かいことに注意を払いすぎて、重要なことを見失う」傾向に起因しています。日本人のこの気質が製品の厳格な品質管理などには良いのですが、時を捕えたビジネス・ディシジョンには向きません。主の回復のクリスチャンであるあなたは、リー兄弟の聖

書の学び方、すなわち Bird's Eyes View と Crucial Points を持って学ぶことを訓練してください。この事はビジネスや研究においてあなたを大いに助けます。

祈り:「おお主イエスよ、聖書を読む時、心を主に向け、霊を活用して、中心点であるキリストと召会から逸らされることなく真理を捕えることができますように。私の宗教観念や価値観を取り除いてください。先入観を排除し、鳥瞰的観点を持って、また重点を捕えて聖書を読む学びは、私のビジネスや研究にも役立つことを感謝します。アーメン!」

Crucial Point(3):一人の新しい人のために、キリストの中へと成長して、文化から出て、執事職を遂行する(OL IV, V)

OL1:主の回復の中で導き、諸召会を顧みる責任を担っている人たちはみな、自分たちがそのような神聖な執事職に分を持っていることを認識する必要があります。

OL2:「私たちに一人の新しい人の感覚があるなら、私たちはもはや、自分の国の召会他国の召会と何の関係もないと考えるべきではありません。そうではなく、すべての召会が今日、一人の新しい人であることを、私たちは認識するでしょう。どうか私たちが主を見つめて、決して分派的になることはありませんように。私たちは、個人的に信者としても、あるいは団体的に地方召会としても、分派的になろうとしません。その反対に、私たちすべて、すべての召会のすべての聖徒は、一人の新しい人です」。

主の回復の中で導き、諸召会を顧みる責任を担っている人たちはみな、自分たちがそのような神聖な執事職に分を持っていることを認識する必要があります。私たちはここで、普通のキリスト教の働きをしているのではありません。例えば、私たちは外側の方法で聖書を教えることだけに興味があるのではありません。そうではなく、私たちはキリストの豊富を神の家族のすべてのメンバーに給仕することを願うのです。互いの会話の中で、私たちはキリストの豊富を供給する必要があります。聖徒たちの家に夕食に招かれる時でさえ、キリストの豊富を分与する必要があります。これが神の執事職です。

私たちは、キリストの豊富を聖徒たちに供給する多くの機会を持っています。仮に、私たちが、ある家族の引っ越しを手伝っているとします。私たちはただ家具を動かすだけではなく、キリストの豊富を家族のメンバーたちに供給すべきです。そのような奉仕に関する私たちのすべての活動は、キリストを伴っているべきです。

キリストの豊富を人に供給するもう一つの機会、人を接待したり人に接待されたりすることにもあります。接待する人も接待される人もキリストの豊富を供給すべきです。

適用: 奉仕者編

新約の奉仕者であるあなたは、神の執事職の奉仕にあずかってください。墮落した人の観念には、「自分は奉仕者であるので、少し偉そうにしたい」という考えがあります。しかし執事は人の上に権威を行使し、「偉そうにする」人ではなく、人々に仕える人です。大きな家族の主人に雇われた執事は、家の豊富を家族のメンバーに分配する人です。執事は奉仕し、供給し、管理します。以下に「長老職に関する学課第一巻 pp.258 ~ 259」からの抜粋を読んでください。

「管理と支配との違いを見ることは助けになります。人を支配するとは、彼らに代わって決定し、何をするか、あるいはしないかを告げることです。それは人をあなたの指揮下に置くことです。主の回復では、私たちはこの種の支配を憎まなければなりません。…しかしながら管理する必要があります。…集会には、ある管理がなければなりません。例えば仮に、誰かが偶像を拝み、そうする自由を主張す

るとします。これは除外されなければなりません」。

執事職はキリストの豊富を神の選民に分与します。それは一人の新しい人を生み出すためです。地方召会は一人の新しい人の一部分であるので、新しい人の感覚を持つべきです。

兄弟の証し:12月22日主日の午後に行われた「福音コンサート、新人の証し、一人の新しい人のメッセージ」の集会に日本人と中国人の友人だけでなく、アフリカのボツワナやインドからの友人も来ておられました。私が、メッセージを語っていた時、以下の御言葉の部分を英語で語っている時に、特に油塗りを感しました。「その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです(コロサイ 3:11)」、「ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。なぜなら、『主の御名を呼び求める者はすべて救われる』からです(ローマ 10:12-13)」。

私たちはサタンによって分けられ、散らされていましたが、主は私たちを集められ一人の新しい人にします。私たちは言語や文化の障壁を乗り越えて、共に主を享受し、共に建造されます。神戸に在る召会は日本人のためだけの召会ではありません。召会は、日本人、中国人、韓国人、インド人、アフリカ人、アメリカ人の区別はなく、一人の新しい人を実行します。これらの事を語っていた時に、ボツワナの兄弟、インドの兄弟や友人がとても喜んでおられるのが分かりました。彼らが集会に来て、共にエンジョイして、キリストに引き寄せられるために、私たちは日本の文化から出て来る必要があります。私たちが日本人の召会生活を実行することは、結果的には彼らを拒絶することになっています。

祈り:「おお主イエスよ、私たちに恵みの執事職に分があり、何をする時にも、キリストの豊富を神の家族の全てのメンバーに供給する必要があります。召会には国籍人種の区別はありません。私が日本人の文化から出て、一人の新しい人の感覚を持って、新しい人の召会生活を持つことができるようにしてください」。

人生の奥義(2)

私たちの取るべき態度⑦:『仰ぎ望む』

- A. 他のものすべてから目を離し、「私たちの信仰の創始者、また完成者であるイエスに完全に注目してひたすら見つめて」います(ヘブル 12:2 FN1)。
- B. 「人々は彼を見つめて光を発した。彼らの顔は決して恥じることはない」(詩篇 34:5)。
- C. 「ああ、わが魂よ、なぜうなだれているのか?なぜ私の内で思い乱れるのか?神を待ち望め、私はわが顔の救い、またわが神である彼をほめたたえます」(詩篇 42:11)。
- D. 「あなたはわが隠れ場、わが盾です。あなたの言葉を、私は待ち望みます」(詩篇 119:114)。
- E. 「朝にあなたの慈愛を聞かせてください。私はあなたに信頼するからです。歩むべき道を私に知らせてください。私はあなたに向かって私の魂を上げるからです」(詩篇 143:8)。
- F. 「幸いである。ヤコブの神を自分の助けとし、自分の望みがエホバ・その神にある人は」(詩篇 146:5)。
- G. 「蛇がどの人をかんでも、その人が青銅の蛇を見ると生きた」—青銅は裁きを表徴します。青銅の蛇は主イエスの予告です。彼は私たちの身代わりまた置き換えとして、罪の肉の様で十字架につけられ、私たちが彼を「見」(中へ信じて)、永遠の命を得ることができるようになりました(民 21:9b FN1)